



**多くの市民が意見交換
「お産」について考える**

3月4日、文化の社交流館コモッセで県や市、医療機関による、鹿角の産婦人科医療についての説明会と、市民団体が主催する「お産」についてみんなで考える集会が開催されました。説明会では、県、市、医療機関が、それぞれの役割を果たしながら、妊婦の不安を和らげ、安心した分娩ができる体制を目指していくと説明されました。また、その後に行われた集会では、約130人の参加者による、活発な意見交換が行われ、これからの行動について提案をまとめるなど、「お産」について議論が深まる場となりました。



**インターハイ女子総合優勝
花輪高校スキー部が地域へ報告**

3月3日に花輪商店街で、花輪高校スキー部がインターハイ女子総合優勝を祝したパレードが開催されました。沿道には、商店街の方々と多くの観客が詰めかけ、「がんばれ！花輪高校」と書かれた大きな横断幕を持ちながら、スキー部の生徒たちを祝福していました。

**思い出を糧に未来へ
中学校卒業式**

3月10日、11日に市内各中学校で卒業式が行われ、266人が新たな一歩を踏み出しました。十和田中学校では、91人の生徒が門出を迎え、先生や保護者、在校生に見守られながら、校長先生から卒業証書を受け取りました。卒業生の合唱では、「旅立ちの日に」が歌われ、未来に羽ばたこうとする気持ちが会場に響き渡りました。



**絵本に親しむきっかけに
おはなし会**

花輪図書館と十和田図書館では、毎週土曜日に「はなわんこ・トワダックのおはなし会」と題した絵本の読み聞かせ会を行っています。3月17日に子ども未来センターで開かれたおはなし会では、高校生ボランティアが図書館スタッフとともに、訪れた親子に絵本を読み聞かせていました。楽しく絵本に触れられるこの催しに、ぜひ親子でお越しください。



**本市の新ブランドとして
かづの啓翁桜が試験販売に**

農家の冬期所得確保に向け、栽培法を検討してきた「かづの啓翁桜」が首都圏で試験販売されることとなり、3月5日、関係者らが児玉市長を訪れ、その報告とともに啓翁桜を贈呈しました。啓翁桜は、早い時期の開花や低温管理が必要ことから本市に適しているとされています。今後は、クリスマスや正月などのさらに早い時期に売り込みたいと抱負を述べました。



**日頃の感謝を込めて
児童センター大感謝祭**

3月4日に福祉プラザで児童センター大感謝祭が行われ、多くの子どもで賑わいました。これは、児童センターが一年間の感謝の気持ちを込めて子どもたちにさまざまな体験をして楽しんでもらおうと企画されたイベントです。会場は、巨大なオセロやアクセサリー作り、ボールを蹴って行けるあて、テブルクロス引きなどを楽しむ子どもたちの声であふれました。



**百歳長寿を祝う
奈良 與次郎さん**

奈良與次郎さん（大正7年八幡平生まれ）が3月2日に満100歳の誕生日を迎え、児玉市長が顕彰状と祝い金を贈り、長寿を祝いました。

與次郎さんは、花輪町時代から議会議員を通算18年間務め、鹿角の発展に貢献され、数々の表彰も受けられています。健康長寿の秘訣は「好き嫌がなく、よく噛んでゆっくり食べる」といふそうです。

